

宗教哲学会 第12回学術大会

2020年3月28日(土)
京都大学 文学部新館 2階

研究発表

第1部会(第4講義室) 9時30分～11時55分

1. 〈分節〉〈無分節〉からみる侘びと寂び
：井筒俊彦と鈴木大拙、体用論からみる芸道の自由の現代的意義の検討
加藤広康(立命館大学)
2. 「生命、それは創造である」
：千利休の教えを西田幾多郎の「場所の論理」から日本文化論に位置付ける研究
松本きみゑ(大阪大学)
3. 糸賀一雄の福祉思想における宗教性—実践のなかで鍛えられる宗教哲学—
安藤泰至(鳥取大学)

第2部会(第5講義室) 9時30分～11時55分

1. シモーヌ・ヴェイユにおける宗教的諸言説の位置付け
：後期ヴェイユ思想の受容のされ方に対する一提言
小林 敬(京都大学)
2. フォードロフの歴史神学：世俗的時空間と聖なる時空間の統合
福井祐生(東京大学)
3. 田辺元とピエール・ジゼルにおけるイエス・キリスト問題
韓 亨模(京都華頂大学)

第3部会(第6講義室) 9時30分～11時55分

1. フロイトの葛藤：宗教批判とユダヤ人アイデンティティのはざままで
網谷優司(京都大学)
2. カントと「義認」の問題—キリスト教との[和解]を求めて—
森 良太(上智大学)
3. 神を死者として思い出すこと—ブルーメンベルクの「哲学者の神の過剰」について—
下田和宣(京都大学)

シンポジウム 13時45分～17時 (第7講義室)

「イスラーム思想と井筒「東洋哲学」」

1. イスラーム思想と井筒俊彦
鎌田 繁(東京大学)
2. イブン・アラビーと井筒俊彦
東長 靖(京都大学)
3. 井筒俊彦と「東洋哲学」構想
澤井義次(天理大学)

司 会 : 小田淑子(元関西大学)
趣旨説明: 澤井義次
コメンテーター: 小田淑子

*会員以外の方も、参加料500円でご参加いただけます。